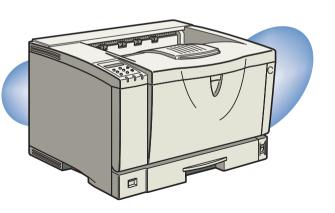
SPEEDIA

CP-E8000
クイックガイド

消耗品の交換、用紙の補給、紙詰まりの処置方法が記載されています。

※ 本書に記載されていない困ったときの処置方法や用紙についての詳しい説明が、CD-ROM内の「ハードウェアマニュアル」に記載されていますので、併せてご覧ください。

1. 紙詰まりの処置方法

1.1 紙詰まりの場所と枚数

表示パネルに紙詰まりが発生した場所と、プリンタ内に残っている紙の枚数を次のように表示します。

（表示例）

場所記号	紙詰まりが発生した場所
A	本体カセット、マルチペーパフィーダ給紙部、本体内部
B	本体排紙部
C	2段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）
D	3段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）
E	シフトトレイ排紙部
F	4ビンプリントトレイ排紙上部
G	4ビンプリントトレイ排紙下部
X	両面印刷ユニット入口部
Y	両面印刷ユニット反転部
Z	両面印刷ユニット出口部

用紙が詰まった場所（A～G、X～Z）と枚数を確認し、以降の方法で全ての用紙を取り除いてください。

冒頭の表示例では、本体カセット→本体排紙部の間に2枚の紙が詰まっている事を示しています。

重要

詰まった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、機器の内部に紙片が残る可能性があります。

何度も用紙が詰まるときは、以下の原因が考えられます。

- 用紙サイズダイヤルの設定と、セットした用紙のサイズ・方向が合っていない。
- フリクションパッドや給紙コロが汚れている。
- 本プリンタに使用できない用紙を使用している。

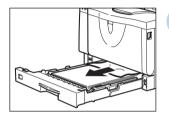
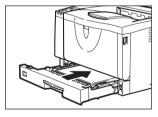
詳しくは、プリンタのCD-ROMに収録の「ハードウェアマニュアル」内の下記項目を参照してください。

☞「5.5 フリクションパッドの清掃」
☞「5.6 給紙コロの清掃」
☞「付録 2. 用紙について」

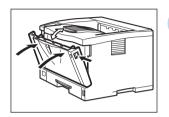
上記の内容を確認した上でも用紙が詰まるときはお近くのカシオテクノ・コールセンターに連絡してください。

1.2 カセット内の紙詰まり（カミヅマリ A, C, D）

（表示例）

```
カミツ゛ マリ        1マイ
A
```

1 **ペーパカセットを少し持ち上げてから止まるまで引き出し、詰まった用紙を取り除きます。**

2 **ペーパカセットを本体にゆっくりとセットします。**

重要

ペーパカセットを勢いよく入れると、トレイの用紙ガイドがずれることがあります。

3 **フロントカバーを一度開けて、閉めます。**

重要

拡張ペーパフィーダに用紙が詰まったときも同様に取り除きます。もし用紙が上下のカセットの間で詰まったときは、必ず下のカセットを開けて用紙を引き抜くようにします。

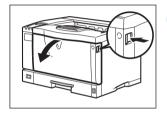
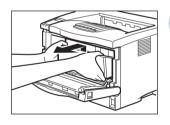
カミヅマリ C：2 段目カセット給紙部
カミヅマリ D：3 段目カセット給紙部

補足

■ フロントカバーの開閉を行なわないとエラーは解除されません。

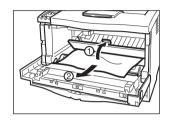
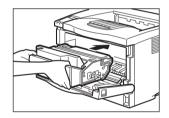
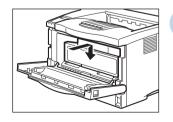
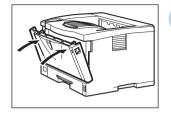
1.3 本体内部の紙詰まり（カミヅマリ A, B）

（表示例）

```
カミヅ マリ                1マイ
B
```

1 **フロントカバーオープンボタンを押してフロントカバーを開けます。**

2 **ドラムトナーセットの取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。**

補足

- ドラムトナーセットを置くときは、机などの平らで突起物などのない場所を選んでください。
- ドラムトナーセットは、斜めに立て掛けたり逆さまにしないでください。

3 **トナーが手に付着しないように、ガイド板を起こし（①）用紙の両端を持って内部から詰まった用紙を取り除きます（②）。**

4 **ドラムトナーセットの取っ手を持ち、プリンタ内部に押し込みます。**

5 **奥に突き当たったところで、ドラムトナーセットを押し下げます。**

6 **フロントカバーを閉めます。**

重要

マルチペーパフィーダから印刷しているときに「カミヅマリ A」が表示されたときは、マルチペーパフィーダにセットしてある用紙を一度取り除いて、いったんマルチペーパフィーダを閉めてからフロントカバーを開閉させてください。

7 **「カミヅマリ B」が表示されたときは、さらに次ページの「1.4 排紙口の紙詰まり（カミヅマリ B）」に従って詰まっている用紙を取り除いてください。**

1.4 排紙口の紙詰まり（カミヅマリ B）

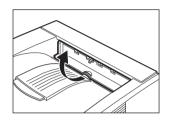
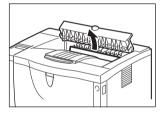
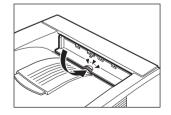
（表示例）

カミツ゛ マリ　　　　　　2マイ B

⚠ 注 意

プリンタ内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

1 シフトトレイを取り付けているときはトレイ（上トレイ）を、4ビンプリントトレイを取り付けているときは一番下のトレイ（トレイ1）を取り外します。

イラストは4ビンプリントトレイの例です。

2 排紙カバーを開けます。

3 用紙を取り除きます。

4 排紙カバーをカチッと音がするまで押し戻します。

1.5 両面印刷ユニット内の紙詰まり（カミヅマリ X, Y, Z）

（表示例）

カミヅ゛マリ　　　　　　2マイ
Y

両面印刷ユニットに詰まった用紙を取り除きます。

注 意

プリンタ内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

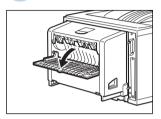
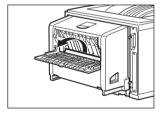
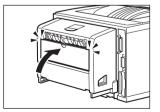
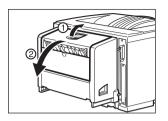
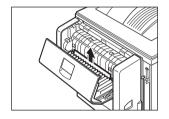
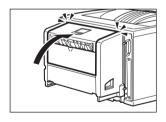
重要

詰まった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、両面印刷ユニット内部に紙片が残る可能性があります。

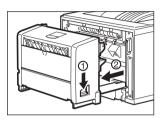
補足

■ 両面印刷できる用紙は以下の範囲のものです。

紙　種：普通紙（64～105g/m²）
サイズ：A3、B4、A4、B5、A5、レター、不定形（182～297mm×148～432mm）

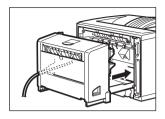
カバー内部の用紙を取り除きます。

1. 両面印刷ユニットリアカバーを開けます。

2. 両面印刷ユニットリアカバーの内部に詰まっている用紙を取り除きます。

3. 両面印刷ユニットリアカバーを閉めます。

4. レバーを引き上げて(①)、両面印刷ユニットカバーを開けます(②)。

5. 両面印刷ユニットカバーの内部に詰まっている用紙を取り除きます。

6. 両面印刷ユニットカバーを閉めます。

   詰まった用紙をすべて取り除けた場合は、エラーメッセージの表示が消えます。エラーメッセージの表示が消えない場合は、手順2へ進んでください。

両面印刷ユニットを止まる位置まで引き出して、用紙を取り除きます。

1. 両面印刷ユニット側面のレバーを押し下げ(①)、両面印刷ユニットを止まる位置まで引き出します(②)。

2. ガイド板を起こして用紙を取り除きます。

重要

A5□の用紙については、両面印刷ユニットを引き出しても用紙が取り除けないことがあります。この場合は反対側の本体ペーパカセットを引き抜いて、用紙を取り除いてください。

3. 電源ケーブルを両面印刷ユニット側面の溝に沿わせて、両面印刷ユニットをプリンタ本体にしっかりと押し込みます。

   エラーメッセージが消えない場合は、本体内部に用紙が残っている可能性があります。本体内部に詰まった紙がないか確認してください。

   ☞「1.3 本体内部の紙詰まり」(5 ページ)

1.6 4ビンプリントトレイ内部の紙詰まり（カミヅマリ F, G）

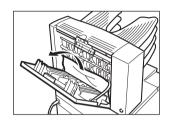
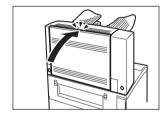
（表示例）

カミヅ゛マリ	1マイ
F	

4ビンプリントトレイに詰まった用紙を取り除きます。

重要

詰まった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、4ビンプリントトレイ内部に紙片が残る可能性があります。

1 **プリントトレイカバーを開けます。**

2 **用紙を取り除きます。**

3 **プリントトレイカバーを閉めます。**

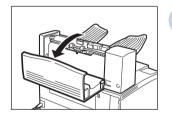
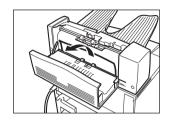
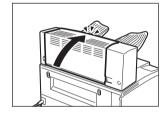
1.7 シフトトレイ内部の紙詰まり（カミヅマリ E）

（表示例）

```
カミヅ゛マリ          2マイ
E
```

シフトトレイに詰まった用紙を取り除きます。

重要

詰まった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、シフトトレイの内部に紙片が残る可能性があります。

1 シフトトレイカバーを開けます。

2 用紙を取り除きます。

3 シフトトレイカバーを閉めます。

2. 用紙の補給方法（ペーパカセット）

2.1 ペーパカセットにセットできる用紙

ペーパカセットにセットできる用紙の種類、サイズと方向、最大セット枚数は以下のとおりです。

● は縦方向に用紙をセットすることを表します。
● は横方向に用紙をセットすることを表します。

用紙の種類	用紙サイズダイヤルをセットしたサイズと方向に合わせます	最大セット枚数
普通紙 再生紙 カラー紙	定形サイズ： A3 、B4 、A4 、B5 、A5 、Letter 不定形サイズ：縦148～432mm（本体ペーパカセットは定形サイズの長さのみ）、横182～297mm の範囲で設定できます。	本体ペーパカセット：250枚 拡張ペーパフィーダ：500枚

重要

セットした用紙サイズと方向に用紙サイズダイヤルを必ず合わせてください。不定型サイズの用紙をセットしたときは、用紙サイズダイヤルを「＊」に合わせ、プリンタドライバまたは操作パネルで用紙サイズの設定をしてください。

補足

- 本体ペーパカセット、および拡張ペーパフィーダセットにセットできる用紙の厚さは、52～90kg紙（60～105g/m²）の範囲のものです。
- 用紙の継ぎ足しは重送による紙詰まりの原因になることがあります。

◆用紙を取り扱うときの注意◆

用紙を取り扱うときは以下の点に注意してください。

用紙をセットするとき

- 用紙はカシオ推奨の用紙のご利用をおすすめします。カシオ推奨の用紙の種類とサイズは「付録2. 用紙について」（プリンタのCD-ROM 内の「ハードウェアマニュアル」）を参照してください。
- ペーパカセットに用紙をセットするときは、ペーパカセットの上限表示を超えないようにしてください。
- マルチペーパフィーダにセットするときは、用紙がサイドガイドのつめの下に収まるようにしてください。
- 用紙をセットしたペーパカセットをプリンタにセットするときは、ゆっくりと入れてください。トレイを勢いよく入れると、トレイの用紙ガイドがずれることがあります。

用紙を保管するとき

- 用紙は以下の点に注意して保管してください。
- 湿気の多い所には置かない。
- 直射日光の当たる所には置かない。
- 立て掛けない。
- 残った用紙は購入時に入っていた袋や箱の中に入れて保管してください。

用紙の種類ごとの注意

●普通紙

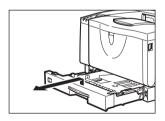
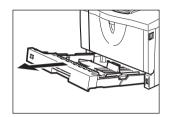
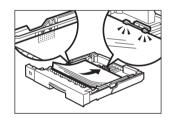
- 90kg紙（105g/m^2）より厚い用紙に印刷するときはマルチペーパフィーダにセットしてください。マルチペーパフィーダには140kg 紙（162g/m^2）までセットできます。
- 目安として 90kg 紙(105g/m^2)より厚い用紙をセットしたときは、プリンタドライバまたは操作パネルで用紙種類を「厚紙」に切り替えます。プリンタドライバで設定する場合は、操作パネルでの設定は不要です。
- 反っていたり曲がっているときは、まっすぐに直してからセットしてください。

2.2 ペーパカセットに用紙をセットする

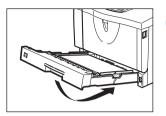
ここではペーパカセットに用紙を補給する方法と、用紙サイズを変更して用紙をセットする方法を説明します。標準の本体ペーパカセット[CPF1]も、オプションの拡張ペーパフィーダセット[CPF２]/[CPF３]もセット方法は同じです。
ここでは本体ペーパカセット[CPF１]を例に説明します。

用紙を補給するとき

参照

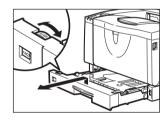
用紙サイズを変更する場合は「用紙サイズを変更するとき」（17ページ）を参照してください。

1 ペーパカセットを少し持ち上げてから、止まるまで引き出します。

2 前面を持ち上げて引き抜きます。

3 印刷する面を下にして用紙をセットします。

重要

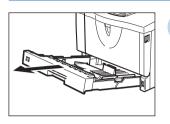
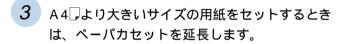
用紙は、用紙ガイドの▼マークやつめの下に収まる量をセットしてください。

4 **前面を持ち上げるようにしてペーパカセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。**

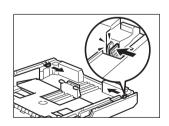
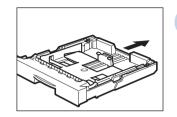
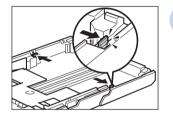
> **重要**
>
> ペーパカセットを勢いよく入れると、用紙ガイドがずれることがあります。

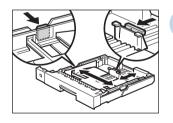
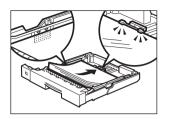
用紙サイズを変更するとき

> **重要**
>
> セットする用紙のサイズ・用紙の方向に、用紙サイズダイヤルの表示を必ず合わせてください。用紙サイズダイヤルの表示が合っていないと、プリンタ内部を汚したり、思いどおりの印刷ができない原因になります。CPF2、3では「ヨウシカセット　ナシ」エラーが表示される場合があります。

1 **ペーパカセットを少し持ち上げてから止まるまで引き出します。用紙サイズダイヤルの表示を、セットする用紙のサイズ・用紙の方向に合わせます。**

不定型サイズの用紙をセットしたときは、用紙サイズダイヤルを「＊」に合わせて、プリンタドライバまたは操作パネルで用紙サイズを設定します。

2 **前面を持ち上げて引き抜きます。**

3 **A4▯より大きいサイズの用紙をセットするときは、ペーパカセットを延長します。**

補足

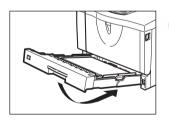
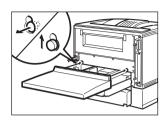
- A4▯より小さいサイズの用紙はペーパカセットを延ばした状態ではセットできません。その場合、ペーパカセットを標準の長さに戻して使用します。

4 **ペーパカセットの2カ所のロックを内側にスライドさせて外します。**

5 **ペーパカセットを延長します。**

6 **ペーパカセットの2カ所のロックを外側にスライドさせて固定します。**

きちんとロックされていないと、用紙が正しく送られない原因になります。

7 **用紙ガイドをセットする用紙サイズに合わせます。**

8 **印刷する面を下にして用紙をセットします。**

重要

用紙は、用紙ガイドの▼マークやつめの下に収まる量をセットしてください。

9 **前面を持ち上げるようにしてペーパカセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。**

重要

ペーパカセットを勢いよく入れると､用紙ガイドがずれることがあります。

10 **手順 5 でペーパカセットを延長した場合は、付属のペーパカセットカバーを取り付けます。**

補足

■ ペーパカセットカバーには取り付け用の穴が４つあります。

- ペーパカセットカバーを本体ペーパカセットに取り付けるときは、外側２つの穴を使用します。
- ペーパカセットカバーを拡張ペーパフィーダに取り付けるときは、内側２つの穴を使用します。
- ３段目の拡張ペーパフィーダに取り付けるときは、プリンタと2段目の拡張ペーパフィーダを取り外してからペーパカセットカバーを取り付けてください。

3. 用紙の補給方法（マルチペーパフィーダ）

3.1 マルチペーパフィーダにセットできる用紙

用紙の種類	セットできる用紙のサイズとセット方向	最大セット枚数
普通紙 再生紙	定型サイズ： A3、B4、A4 、B5 、A5 、はがき、Letter 不定形サイズ（フリー）： 縦148～900mm、横90～305mmの範囲で設定できます。	100枚 A4より大きいサイズ:10枚 A3より大きいサイズ：1枚
OHPフィルム ラベル紙		25枚
官製はがき	はがき	40枚
封筒	封筒（長形3号、長形4号、洋形1号、洋形4号）	25枚

重要

マルチペーパフィーダに用紙をセットしたときは、プリンタドライバで用紙サイズの設定が必要です。**「3.2 マルチペーパフィーダに用紙をセットする-④」(25ページ)**

不定形サイズの用紙をセットしたときは、プリンタドライバで用紙サイズを設定する必要があります。**「3.2 マルチペーパフィーダに用紙をセットする-④」(25ページ)**

マルチペーパフィーダにA3より長い用紙をセットしたときは、正しく用紙が送られるように1枚ずつ手で持って支えてください。また、用紙の厚さや紙幅により用紙の送られ方や画質が異なりますので、事前にご使用になる用紙で印刷結果を確認してください。

補足

- マルチペーパフィーダにセットできる用紙の厚さは45～140kg紙（52～162g/m^2）です。
- 45kg紙（52g/m^{2}紙）、またはA3以上の長さの用紙は、直角に裁断されていないと正しく給紙されないことがあります。

● OHP フィルム

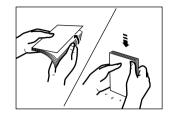
- OHPフィルムはマルチペーパフィーダにセットしてください。一度に25枚までセットできます。
- OHPフィルムに印刷するときは、プリンタドライバまたは操作パネルで用紙種類を「OHP」に切り替えます。プリンタドライバで設定する場合は、操作パネルでの設定は不要です。ただし、本プリンタ用のプリンタドライバ以外で印刷するときは、操作パネルで設定する必要があります。
- 印刷面にできるだけ手を触れないようにしてください。印刷面が汚れたり傷がついたりすると印刷品質に影響が出ます。OHPフィルムを持つときは、できるだけ端を持ってください。
- 表裏のある OHP フィルムに印刷するときは、印刷面を上にしてマルチペーパフィーダにセットします。

●ラベル紙

- ラベル紙はマルチペーパフィーダに 25 枚までセットできます。
- リコピーPPC用ラベル紙タイプDXは、方向にセットすることを推奨します。
- 用紙の全面が印刷できる物で、糊面がはみ出していない物を使用してください。
- コーティングされている用紙は、通常の用紙よりもトナーの定着が悪いため、印刷品質が落ちます。

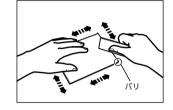
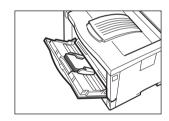
●官製はがき

- 官製はがきは、さばいて端をそろえてから（図参照）、マルチペーパフィーダにセットしてください。一度に40枚までセットできます。

- はがきが反っているときは、まっすぐに直してからセットしてください。

重要

はがきに反りがあると、はがきの不送りの原因になります。

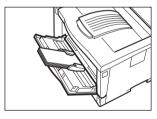
- はがきの裏面にバリ（紙を裁断したときにできた返し）があるときは、バリを取り除いてからセットしてください。バリを取り除く方法は以下のとおりです。

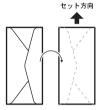
  ① はがきを平らなところに置き、定規などを水平に１～２回動かしてはがきの４辺のバリを取り除きます。
  ② バリを取り除いたときに出た紙の粉をはらいます。

- 印刷する面を上にして、印刷開始方向から先に差し込みます。

- 官製はがきを印刷するときは、プリンタドライバで種類を「厚紙」に切り替え、用紙サイズを「はがき」に設定してください。

- 印刷できるのは普通紙の官製はがきです。印刷できないはがきは以下のとおりです。

  - 私製はがき
  - 絵はがきなどの厚いはがき
  - 年賀状やかもめーるなどのはがき
  - 絵入りはがきなど裏映り防止用の粉がついているはがき
  - インクジェットプリンタ専用のはがき
  - 一度印刷したはがき
  - 表面加工されたはがき
  - 表面に凹凸のあるはがき

●封筒

- 封筒はマルチペーパフィーダにセットしてください。
  一度に 25 枚までセットできます。
- 洋形封筒は印刷する面を上に、フラップ(ふた)を左側にして、マルチペーパフィーダにセットしてください。
- 長形封筒は印刷する面を上に、フラップ(ふた)を手前側にして、開いた状態でマルチペーパフィーダにセットしてください。

- 封筒は､本プリンタ推奨のものをご使用ください｡推奨品以外の封筒では、正しく印刷されないことがあります。

＜洋形封筒＞

＜長形封筒＞

セット方向

- 封筒の表面（宛名の面）の図の範囲（印刷推奨範囲）に印刷できます。裏面には印刷しないでください。

15mm
印刷推奨範囲
10mm
10mm　10mm

- 封筒を押さえて中の空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと押さえてからセットしてください。また封筒が反っているときは、まっすぐに直してからセットしてください。
- 印刷するときは、プリンタドライバで、用紙種類を「厚紙」に切り替え、用紙サイズを指定してください。

☞「3.2 マルチペーパフィーダに用紙をセットする - 4」（25 ページ）

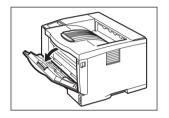
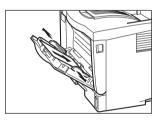
- 印刷後、封筒が大きくカールしたときは、しごいて直してください。
- 場合によっては、封筒の長辺の端に細かいしわができて排紙されたり、裏面が汚れて排紙されたり、ぼやけて印刷されることがあります。また黒くベタ刷りする場合に、封筒の用紙が重なりあっている部分にすじが入ることがあります。

使用できない用紙

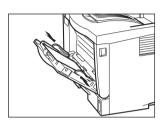
以下のような用紙は使用しないでください。

- しわ、折れ、破れ、端が波打っている用紙
- カール（反り）のある用紙
- 湿気を吸っている用紙
- 乾燥して静電気が発生している用紙
- 一度印刷した用紙､特にレーザープリンタ以外の機種（モノクロ・カラー複写機､インクジェットプリンタなど）で印刷された物は､定着温度の違いにより定着ユニットに影響を与えることがあります。
- 表面が加工された用紙（指定用紙を除く）
- 感熱紙やノンカーボン紙など特殊な用紙
- 厚さが規定以外の用紙（極端に厚い・薄い用紙）
- ミシン目などの加工がされている用紙
- 糊がはみ出したり、台紙の見えるラベル紙
- ステープラー・クリップなどを付けたままの用紙

3.2 マルチペーパフィーダに用紙をセットする

マルチペーパフィーダには、普通紙以外に官製はがきやA3□より長い用紙など、ペーパカセットにセットできない用紙をセットできます。

1 マルチペーパフィーダを開けます。

2 サイドガイドを広げ、印刷する面を上にして用紙が突き当たるまで差し込みます。

補足

■ A4□より長い用紙をセットするときは、延長トレイを引き出します。

3 サイドガイドを用紙に押し当てます。

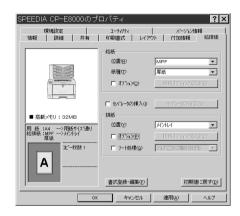
重要

セットした用紙がサイドガイドのつめの下に収められていることを確認してください。

A3□以上の長さの用紙は1枚ずつセットし、正しく用紙が送られるように手で持って支えてください。また、用紙の厚さや紙幅により用紙の送られ方や画質が異なりますので、事前にご使用になる用紙で印刷結果を確認してください。

補足

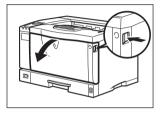
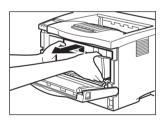
■ 45kg紙、またはA3□以上の長さの用紙は、直角に裁断されていないと正しく給紙されないことがあります。

4 プリンタドライバでセットした用紙サイズと紙種を設定します。

✐ 補足

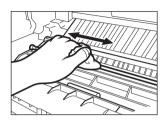
■ 本プリンタ用のプリンタドライバを使用しないときは、操作パネルで「給紙選択」「MPF用紙サイズ」「紙種」等を設定してください。詳しくは、プリンタのCD-ROMに収録の「リファレンスマニュアル」内の下記項目を参照してください。

☞「B0 給紙選択」
☞「B3 MPF用紙サイズ」
☞「F0 紙種」

4. ドラムトナーセットの交換方法

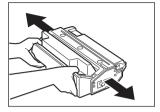
1 プリンタの電源を切ります。

2 フロントカバーオープンボタンを押してフロントカバーを開けます。

3 ドラムトナーセットの取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。

補足

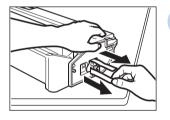
- ドラムトナーセットを置くときは、机などの平らで突起物などのない場所を選んでください。

4 金属製のレジストローラーの位置を目安に、水を固く絞った布でレジストローラー周辺の紙粉を拭きとります。

重要

アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。

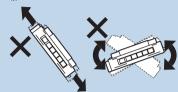
5 新しいドラムトナーセットを梱包箱から取り出します。

6 水平に 7 ～ 8 回程度振り、中のトナーが片寄らないように均一にします。

補足

■ ドラムトナーセット内でトナーが片寄ると、印字面に汚れが発生します。

7 ドラムトナーセットを水平な場所に置き、片手を添えながらトナーシールを水平に引き抜きます。

重要

ドラムトナーセットを傾けてトナーシールを抜かないでください。

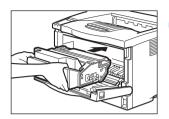
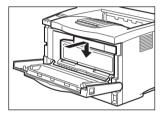
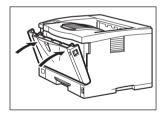
重要

ドラムトナーセットを傾けて振らないでください。

重要

トナーシールを引き抜かないで使用すると故障の原因になります。必ずトナーシールを引き抜いてから使用してください。

トナーシールは必ず水平に引き抜いてください。上方向や下方向に引き抜くとトナーがこぼれやすくなる原因になります。

手や衣服を汚さないように注意してください。

トナーシールを引き抜いたあとは、トナーがこぼれやすくなっています。ドラムトナーセットを振ったり衝撃を与えないようにしてください。

8 ドラムトナーセットの取っ手を持ち、プリンタ内部に押し込みます。

9 奥に突き当たったところで、ドラムトナーセットを押し下げます。

10 フロントカバーを閉めます。

重要

ドラムトナーセットが奥まで正しくセットされていないと、フロントカバーが閉まりません。そのときはドラムトナーセットを一度取り出し、セットし直してください。

カシオは地球環境保護のためドラムトナーセットの無料回収を行なっています。詳しくはオプションのドラムトナーセットに同梱されている案内書をご覧ください。やむを得ず、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。なお、地方自治体の条例により廃棄・分別の方法が指定されている場合はそれに従ってください。

11 プリンタの電源を入れます。

カシオ計算機株式会社
システムソリューション営業統轄部　ページプリンタ企画室

〒151-8543 東京都渋谷区本町1－6－2
電話 03-5334-4552

東京地区	電話 03-5334-4550
西日本地区	電話 06-6243-2100
中部地区	電話 052-324-2135
カシオ情報機器　北海道地区	電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北地区	電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国地区	電話 082-239-1500
カシオ情報機器　四国地区	電話 087-862-8822
カシオ情報機器　九州地区	電話 092-475-3939
テクニカル・インフォメーション・センター	電話 03-5334-4557

インターネット・ホームページ　http://www.casio.co.jp/ppr/

CP-E8000
クイックガイド

2004年1月20日　第3版発行

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

＊ 本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。